



やなぎ美智子からのお便り

事務所 市川市鬼高2-5-16 清央荘101号室 FAX：047-307-9741
メールアドレス：kangoshi@hotmail.co.jp

6月定例会市議会で16日、質問に立ちました

コロナ禍で感染症医療体制のせい弱さが浮き彫りに「医療・介護体制の確立」を



DV被害者への特別定額給付金の対応について誠心誠意対応することを求めました
代表質問は金子貞作議員、補足質問は廣田徳子議員とやなぎが行いました

○医師会との連携について
(答弁) 医療機関の崩壊を防ぎ、医療関係者が感染者への治療に専念するため、市川医師会と連携し、PCRセンターを開設した。今後第2波、第3波に備え、医師会と連携を図っていく。
(要望) 自然災害時、避難所での感染拡大防止対策など、医師会との協議や連携強化を要望する。

○窓口の相談内容について
(答弁) 公共交通機関利用、風邪症状や微熱など体調、受診に関する健康相談が多い。
(提案) 登録制度で育児休業中の医師、潜在看護師の活用などの仕組みを提案する。

○老健施設内感染について
(答弁) 入所施設の感染症リスクの高さを痛感した。複合施設での感染管理の難しさを改めて認識した。今後、万一、施設内感染が発生した場合、迅速に医療機関での

「護岸が傾いている。家が傾くのでは・・・豪雨や地震が心配」川沿いの住民の方からの声を受けて、市や県に対策を要求してきました。自治会の皆さんとも協力しながら県担当者からの説明会にも取り組んできました。昨年の台風では、一時警戒レベル4が発令されました。水位計設置、雑草除去、しゅんせつも必要です。



工事告知の看板：6月21日やなぎ撮影

転院治療が行えるよう県保健所に対して協力を求めている。 (市長への要求) 厚生労働省に、全国440を超える公的病院の統廃合計画を中止するよう主張してほしい。 県に、全国最下位クラスの治療・介護従事者数と病床数を増やすように主張してほしい。

派川大柏川コンクリート護岸改良工事が始まりました

工期は6月29日～12月16日予定



無料法律相談

7月14日(火) 8月11日(火)
午後2時～5時 市役所仮本庁舎
相談を希望される方は事前予約が必要です。日本共産党市議会議員、または市役所共産党控室にご連絡ください。

電話：334-1111
(内線4591)